

委員会議事概要

1 委員会名	令和5年度 第9回沖縄海区漁業調整委員会
2 開催日時	令和5年12月8日(金) 13時59分～14時38分
3 開催場所	県庁6階第2特別会議室
4 出席委員 (定数15名中11名)	<p>(会場) 上原亀一会長、赤嶺博之委員、伊良波宏紀委員、大嶺嘉昭委員、八前隆一委員、山内得信委員、大谷 健太郎委員、新立弘子委員、藤田喜久委員、城間恒浩委員</p> <p>(WEB) 池田 博委員</p> <p>(欠席) 大城和夫委員、当真 聡委員、山川彩子委員、天方 徹委員</p>
5 議事録署名人	新立弘子委員、藤田喜久委員
6 議事内容	
(1) 第1号議案	南大東島及び北大東島海域における潜水器漁業の操業承認について
【要旨】	南大東島及び北大東島の沿岸海域における漁業に係る沖縄海区漁業調整委員会指示5第5号に基づき、当該海域における潜水器漁業の操業承認申請が4件提出され、いずれも原案通り承認された。
【特記事項】	<p>委員からの質問事項</p> <p>八前委員：当該申請は、南大東島に限定した操業に関するものか。 ⇒南大東に限定した承認になる。北大東で操業する場合は、北大東の漁業団体からも承認が必要。</p> <p>山内委員：議案書の委員会指示抜粋に書かれている別表1の範囲とは。 ⇒南北大東の沿岸域の座標を列挙した表である。</p>
(2) 第2号議案	東日本ブロックから照会のあった事項に対する各海区の意見について
【要旨】	<p>令和5年11月16日に開催された全国海区漁業調整委員会連合会九州ブロック会議において、東日本ブロックから照会のあった下記の事項それぞれに対する回答案について、原案通り承認された。</p> <p>① 海の異変や気候変動による漁獲魚種の変化と漁業調整問題について</p> <p><u>回答案：気候変動に関連した漁獲の増減は、確認されていない</u></p>

	<p>② 政府要望提案は、「全国共通の課題」としてとりまとめが行われるため、「個別具体的」ではなく「全国的な要望」につながる内容に限定したらどうか。 <u>回答案：東京海区の提案に賛同</u></p> <p>③ 「個別具体的な提案」については、「要望事項」とは切り離して、別議題（会議議題）として意見交換等を行うことにしたらどうか。 <u>回答案：東京海区の提案に賛同</u></p> <p>④ 「要望結果」において、具体的な回答や提案も示されない場合、「全漁調連」と「要望先の政府機関」との間で協議を行う機会を、別途設置する等検討したらどうか。 <u>回答案：東京海区の提案に賛同</u></p>
【特記事項】	<p>委員からの質問事項</p> <p>城間委員：気候変動による漁獲量の変動について、沖縄でも調べる枠組みが存在するのか。 ⇒本土では、元々分布しなかった南方系魚種が漁獲されるようになり、変化が顕著に認識されるようになったが、沖縄に分布する魚種は、熱帯域と共通する種が多く変化が分からない。漁獲量の増減はあるものの、気候変動に関連したものと断定することは難しいので、このような回答案となっている。</p>
(3) 第3号議案	浮魚礁の敷設承認申請について
【要旨】	流失に伴う再敷設申請が与那国町漁協から1基提出され、内容を審議した結果原案通り承認された。
【特記事項】	特になし。
(4) 報告事項1	改正沖縄県資源管理方針の承認について
【要旨】	前回の委員会において、諮問・答申を受けた改正沖縄県資源管理方針について、11月27日付で農林水産大臣の承認が得られた旨報告した。また、今後の協定移行スケジュールについても報告した。
【特記事項】	委員からの質問事項

	<p>城間委員：資源管理協定における代表漁業者は、これまでのように漁協の組合長が務めることになるのか、それとも漁業者の中から代表を選ぶことになるのか。</p> <p>⇒協定は、漁業者同士の取り決めという位置づけになるので、参加する漁業者の中で代表者を選定し、履行確認の書類等も代表漁業者名で提出いただくことになる。</p>
(5)報告事項2	タイマイの採捕枠拡大に係る要請について
【要旨】	<p>一般財団法人日本ベッコウ甲協会ほか2者より、タイマイの採捕枠拡大に係る要請があったことを報告した。</p> <p>要請への対応として、増枠の必要性や合理性についての科学的根拠が不足していることから、現状の許可頭数で実績を優先した配分をするなど、有効活用により対応していく方針であることを報告した。</p>
【特記事項】	特になし。